

研究のために、あなたのカルテの情報を使用することについてのお知らせ

◎対象となる患者さん:

九州医療センターで食道腫瘍性疾患の手術を受けたことがある方

1. 研究の題名 『食道腫瘍性疾患の術後合併症予測因子と予後予測因子の解明(多施設共同研究)』

＜研究期間＞ 九州医療センター院長からの研究実施許可後 ～ 令和11(2029)年10月31日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ 食道腫瘍性疾患での術後合併症や予後に関わる因子について調べることで、今後の診療における至適な手術適応や術式選択、周術期治療を明らかにする。

＜利用方法＞ 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 平成27(2015)年1月1日 ～ 令和6(2024)年10月31日

4. 本研究で利用・提供する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得・提供します。

臨床情報: 年齢、性別、施設症例番号、既往歴、癌家族歴、術前の腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)、主占居部位、肉眼型、壁深達度[cT]、リンパ節転移[cN]、臨床的進行度分類(cStage)、術前治療

病理情報: 腫瘍の大きさ(最大径)、壁深達度(M/SM/MP/AD/AI)、壁深達度[pT]、リンパ節転移個数、リンパ節転移[pN]、遠隔転移臓器部位(局所、腹膜、リンパ節、肝、肺、骨、その他(自由記載))、遠隔転移[pM]、病理学的進行度分類(pStage)、組織型、リンパ管侵襲、静脈侵襲、壁内転移[IM]、神経侵襲[Pn]、水平断端[HM]、垂直断端[VM]、近位断端[PM]、遠位断端[DM]、外科剥離面[RM]

治療経過情報: 術式、手術日、手術時間、出血量、術中輸血の有無、吻合法、術後在院日数、術後合併症の有無、術後合併症名、術後補助化学療法、再発の有無と部位(局所、腹膜、リンパ節、肝、肺、骨、その他(自由記載))、無再発生存日数、再発後の治療(内視鏡的切除/手術/放射線療法/薬物療法)、生存/死亡、死因(原病死、他病死、治療関連死、その他(自由記載))、最終生存確認日(死亡の場合は死亡日)

■本研究で提供する情報の詳細

＜提供を行う機関の名称及び長＞ 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 院長 岩崎 浩己

＜研究責任者名＞ 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 消化管外科 太田 光彦

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、九州大学病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

九州大学病院 中ノ子 智徳

九州がんセンター 木村 和恵
九州医療センター 太田 光彦
大分県立病院 池部 正彦

6. 情報管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究に診療情報を利用する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

情報提供元(九州医療センター)

<診療科名> 消化管外科

<研究責任者名> 太田 光彦

情報提供先(九州大学病院)

<診療科名> 消化管外科

<研究代表者名> 中ノ子 智徳

7. 情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの(情報)が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

<連絡先> 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

<担当者> 消化管外科 太田 光彦

< TEL > 092-852-0700(代表)